

埋込型配管端末器 (アウトレット) F3D型

工事施工要領書

安全上のご注意

警告

油脂類のついた工具は使用しないでください。

配管内に油脂類が混入し、火災・爆発の原因となります。

1. 適用機種

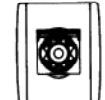
この工事施工要領書は、次の機種に適用します。

図番	図番
7A310-01XXX	埋込F3D型OLボックス
7A311-01XXX	埋込F3D型OLボックス (鋼管フレアタイプ)

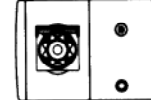
スライドフックなし

スライドフック付き

1口用

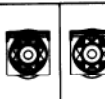


図番: 7A31X-011XX



図番: 7A31X-01152

2口用

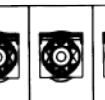


図番: 7A31X-012XX

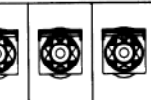


図番: 7A31X-012XX

3口用

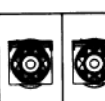


図番: 7A31X-013XX

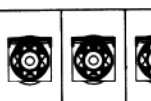


図番: 7X31X-013XX

4口用



図番: 7A31X-014XX



図番: 7A31X-014XX

図-1

2. 各部の名称

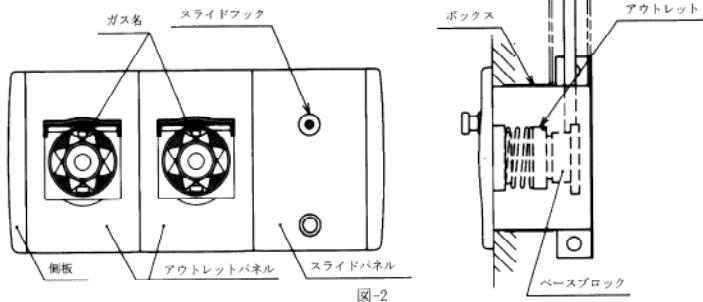


図-2

本図は2口用スライドフック付き配管端末器 (アウトレット) を示します。

3. 現品の確認

梱包箱より部品を取り出し、下記の項目について確認してください。
万一部品の欠品あるいは破損、不具合などがありましたら、弊社または代理店までご連絡ください。
なお、本製品は施工時期の違いにより、部品を二度に分けて出荷しています。壁の仕上がり前に施工する部品を「一次工率部品」、壁の仕上がり後に施工する部品を「二次工率部品」といいます (図-3参照)。本梱包箱には一次工率部品のみ梱包されています (図-3参照)。

3-1. 部品の欠品及び不足はないか。

- 一次工率部品
- 1) 送付状の員数どおりに部品数があるか。
 - 2) ベースブロックにプラグは付いているか。
 - 3) ガス名は合っているか。
ベースブロック配管のガス名シール、ベースブロックのガス名刻印で確認してください。

二次工率部品

- 1) 送付状の員数どおりに部品数があるか。
- 2) スペーサ (六角形、長さ31mm) はあるか。
- 3) フレームはあるか。
- 4) ナベコネジ (M4、長さ6mm) はあるか。
- 5) アウトレットパネルはあるか。
- 6) スライドパネルはあるか。
- 7) 側板はあるか。
- 8) フックはあるか。 (スライドフック付のみ)
- 9) 六角穴付ボルト (SUS製、長さ25mm) はあるか。 (スライドフック付のみ)

3-2. 部品に輸送による破損および不具合はないか。

- 一次工率部品
- 1) ボックスに変形はないか。角部がつぶれていないか。
 - 2) ベースブロックの配管接続部にキズ、変形はないか。
 - 3) その他部品に割れや変形などの異常がないか。
- 二次工率部品
- 1) フレームに変形はないか。
 - 2) パネルに変形はないか。
 - 3) その他部品に割れや変形などの異常がないか。

2

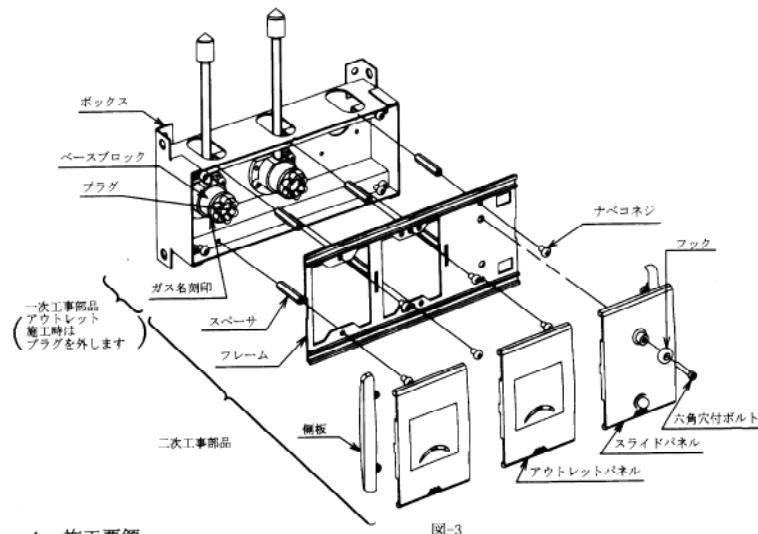


図-3

4. 施工要領

4-1. 軽量間仕切り壁の場合

軽量間仕切り壁の場合の一次工率部品の取り付けは、建築用鋼製下地材が組みあがったあと、ボード貼り付け前におこなってください。

1) ボックス支持材の取り付け

壁下地材のスタッド間に、ボックスを通した全ねじボルトまたはアングル材をねじ止めまたは溶接により取り付けしてください。
取り付け高さ (床面からベースブロックの中心までの距離) は、下記を標準とします。

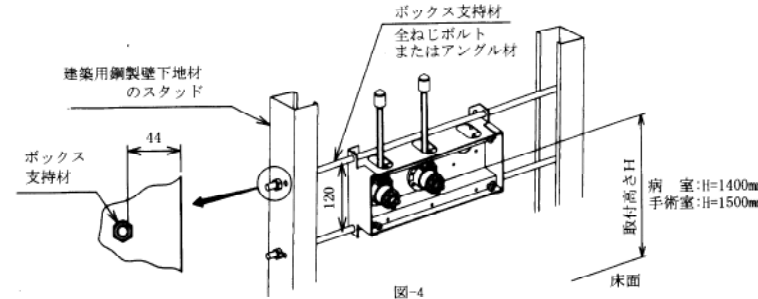


図-4

2) ボックスの取り付け

ボックスの埋め込み深さは、図-5のとおりです。ボックス先端面がボード貼り付け位置 (ボードの内側の線) よりも外側に出ないようにしてください。
ボード貼り付け後、壁が仕上がった時点でベースブロックの深さ調整は行いませんが、現時点で取付板を予定壁仕上がり面から30mm奥になるように移動させておいてください (6項参照)。

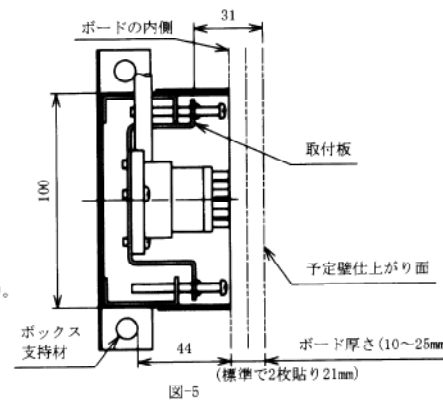


図-5

ボックスの取付け位置が決まりましたら、ボックスを傾きがないように、また、上下を間違えないようベースブロック配管が上になるように注意して、ボックス支持材に固定してください。

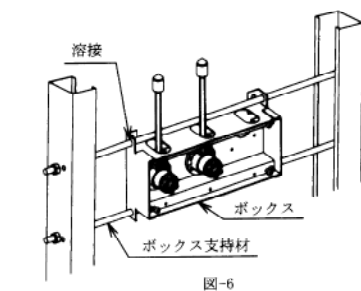


図-6

3) 医療ガス配管の接続

<鋼管ろう付接続の場合>

- (1) 立り配管にベースブロック配管をろう付けしてください。配管のサイズは3/8Bです。
- (2) このとき、以下の3項目が一致しているかチェックしてください (図-7参照)。
(a) ベースブロックのガス名刻印
(b) ベースブロック配管のガス名シール
(c) 立り配管のガス名
- (3) ろう付けは、ベースブロックに熱が加わらないよう、ぬれ布などで保護しながらおこなってください。

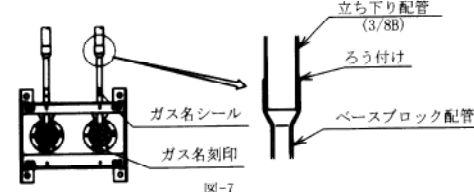


図-7

<鋼管フレア接続の場合>

- (1) 立り配管とベースブロックをフレアナットで接続してください。配管のサイズは1/4Bで、ベースブロックとの接続側はフレア加工され、フレアナットが付属しています。
- (2) このとき、以下の2項目が一致しているかチェックしてください (図-8参照)。
(a) ベースブロックのガス名刻印
(b) 立り配管のガス名、ガス識別色
- (3) フレアナットの締付は30N・mで行ってください。

30N・m締付用トルクレンチ (東日製プレセット形トルクレンチCL50N×12D-MH) およびヘッド (東日製SH型オープンヘッドSH112D×19) を準備してください。

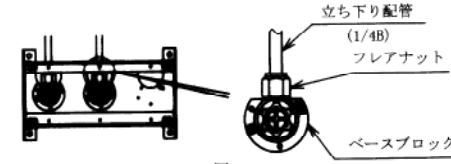


図-8

4-2. コンクリートの場合

コンクリート壁の場合の一次工率部品の取り付けは、建築の型枠解体工事完了後、壁仕上がり前におこなってください。

1) 箱入れ

建築の型枠工事に合わせて、配管貫通スリーブと同時に箱入れをしてください。箱入れは、設計図により一次工率部品取り付け位置を正確に割り出してからおこなってください。箱入れ寸法は、図-9のとおりです。取り付け高さ (床面からベースブロックの中心までの距離) は、下記を標準とします。

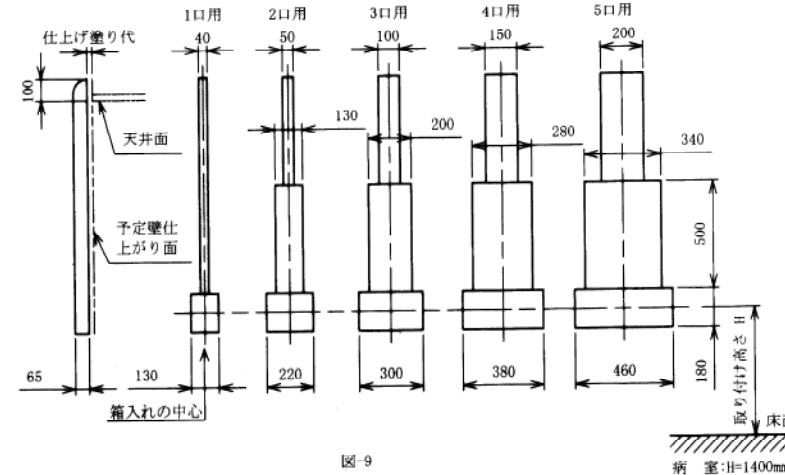


図-9

2) 医療ガス配管の接続

- (1) 立り配管に保護管を通し、ベースブロック配管をろう付けしてください。配管のサイズは3/8Bです。
- (2) このとき、以下の3項目が一致しているかチェックしてください (図-7参照)。
(a) ベースブロックのガス名刻印
(b) ベースブロック配管のガス名シール
(c) 立り配管のガス名
- (3) ろう付けは、ベースブロックに熱が加わらないよう、ぬれ布などで保護しながらおこなってください。
- (4) 保護管の天井内での処理は、図-10によります。
※鋼管フレアタイプの場合は、4-1項3) <鋼管フレア接続の場合>に従い、1/4B配管を接続してください。

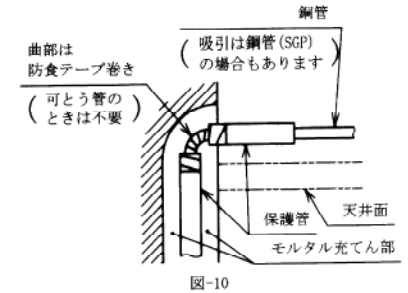


図-10

3) ボックスの取り付け

(1) 埋め込み深さ

ボックスの埋め込み深さは、図-11のとおりです。ボックス先端面が予定壁仕上がり面から10~25mm奥になるように埋め込んでください。仕上げ塗りのコンクリート厚さを考慮し、ボックス先端面が予定壁仕上がり面よりも出ないようにしてください。また、このとき、取付板の深さ位置を予定壁仕上がり面から31mm奥になるように移動させておいてください。 (6項参照)

ボックスの取付け位置が決まりましたら、ボックスを傾きがないように注意して壁に固定してください。

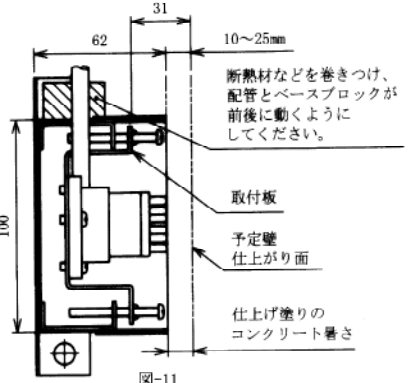


図-11

5. ブロー用プラグについて

配管内の清掃や系統検査、清浄度検査を実施する際には、実施するすべてのベースブロックからプラグを取り外し、専用のブロー用プラグ (図番: 64323-81100) を用いて実施してください。

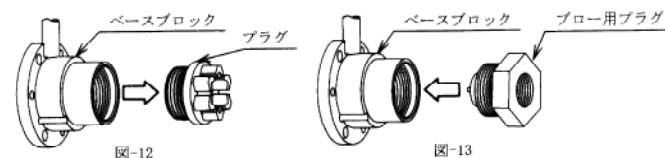


図-12

図-13

なお、配管内の清掃や系統検査、清浄度検査の実施については、別途発行する「医療ガス配管設備工事要領書」をご参照ください。

6. ベースブロックの深さ調整

- 1) スペーサの取り付け
アウトレットボックスの取付板にスペーサを取り付けてください。
- 2) スペーサの位置調整
壁仕上がり後、スペーサ先端が壁仕上がり面に合うように、深さ調整ねじで調整してください (図-14、15参照)。
調整要領は、固定ねじ4本ははずれない程度までゆるめておきます。次に深さ調整ねじ4本で、スペーサの位置 (取付板の高さ) を調整してください。深さ調整ねじを時計方向に回すとスペーサは手前の方向へ、反時計方向に回すと奥の方向へ移動することになります。調整後は、固定ねじ4本で取付板がぐらつかないようにしっかりと固定してください。 (図-16参照)

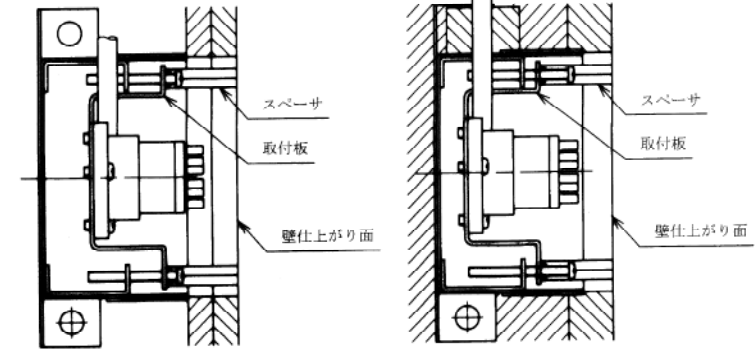


図-14

図-15

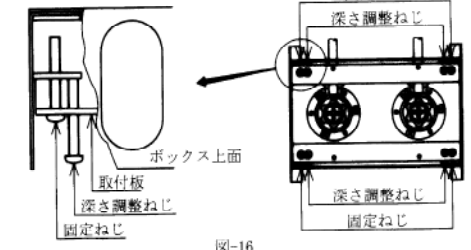


図-16

7. パネルの施工

1) フレームの固定

付属のナベコネジを用いて、フレームをスペーサに固定してください。
・フレーム取付時には、表裏を間違えないように注意してください。
・フレーム固定後、フレームと壁仕上がり面に隙間がないか確認してください。
隙間がある場合には、隙間がないように図-14~16を参考に位置調整を行ってください。

2) パネル取付け

(1) アウトレットパネルと、それを取付ける部分のベースブロックに刻印しているガス名刻印とが一致していることを確認してください。正面から見て最も左側に取付けるアウトレットパネルの左端に側板を取り付けてください。

ガス名	刻印	アウトレットパネルのマーカ色
酸素	O	緑
窒素	N	青
空気	A	黄
吸引	V	黒

側板取付後、図-17を参考にフレーム上端にアウトレットパネルを引っ掛け、その後アウトレットパネル下部を押し、フレーム下端にはめ込んでください。

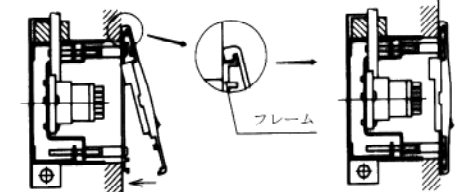


図-17

- (2) 上記(1)と同様に、両端以外のアウトレットパネルをフレームに取付けてください。
- (3) 正面から見て最も右側に取付けるアウトレットパネル又はスライドパネルの右端に側板を取り付けます。側板取付後、上記(1)と同様にフレームにアウトレットパネル又はスライドパネルを取り付けてください。尚、スライドパネルを取付けた場合は、フックを六角穴付ボルトを用いて固定してください。

●注意

フレームに取り付けたパネルを取り外す場合は、各パネル下面両端の切り欠き部にマイナスドライバーを差込み、引き上げてください。

施工後の確認:

- ・パネルのガタつきや浮き上がりがないか、アウトレットパネルのカバーの開閉がスムーズが確認してください。
- ・パネルのマーカ色と、ベースブロックの刻印を確認し、ガスの種別が合致していることを再度確認してください。

エア・ウォーター 防災株式会社
AIR WATER SAFETY SERVICE INC.

17.04.06
技術部